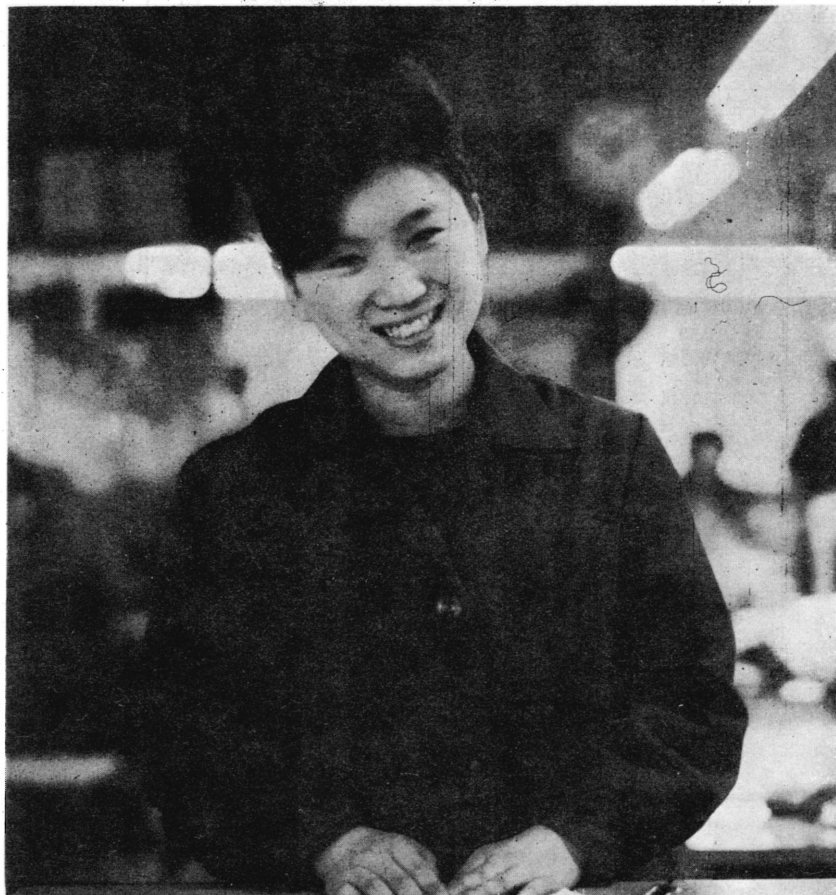


富士川

43・3月 43. 3. 15 No. 90

町の現況	
面積	31.09K㎡
人口	43.3.1 現在 14,955人
男	7,400人
女	7,555人
世帯数	3,285世帯
町議員数	18人



いらっしやいませ

役場

2P ○坪内消防団長藍綬褒章受章

○郡保護司研修会開催

○斎藤順子さん(小二)総長賞を獲得

3P ○くらしのメモ

○中卒就職生の前途を祝す会

○紅ばらカメラ店横県道右折禁止

○社教アラカルト

4P ○旭町に自警消防隊

○郡駅伝競走大会・当町一般の部で優勝

5P ○富士(由比)バイパスと当町の岩淵小池下線

○町道三ヶ所舗装なる

○一小前県道拡幅改修

○役場前に駐車場

○町議会短信

○中小企業設備近代化資金貸付募集中

6P ○小学生五、六年の食生活

まだまだ不足な栄養素

○声々相生町のご婦人へ

○庵原地区更生保護婦人会笠松刑務所訪問

7P ○一里塚のえのき東側一本が枯死―えのきをしのぶ会

○春の野菜とさかな

8P ○人の流れ

○随想「路のとう」

芦川照江

坪内消防団長

藍綬褒章受章

消防組織法施行二十周年記念式で

坪内佐吉消防団長は、三月七日東京の日本武道館で両陛下ご臨席のもと開催された「消防組織法施行二十周年記念式典」席上で、水火災防護功労者として表彰され、藍綬褒章を受章しました。

坪内氏「わたくし個人の受彰にとどまらず、富士川町消防団の榮譽だと思っています。

団員諸君、団員のご家族、また不肖なわたくしを陰に陽にお導きくださった皆さんに心から感謝いたします。

消防組織法施行二十周年にあたり当町消防団の歩みを振り返りますと感無量なものがあります。今後ますます充実していくことでしようが、わたくしもできる限り努



写真・坪内消防団長

力していきたいと考えています」

同氏は、明治三十六年五月二十日生まれで六十四歳、本通四丁目に住まれ、坪内工業所を経営、現在消防団長を務めるほか静岡県消防協会理事、清庵支部長も兼職

また町議会議員(三期目)の要職にあります。

昭和六年に富士川町消防組消防手を拜命、ポンプ機械掛として昭和十四年警防団に改組されるまで七年余在職、事業の都合により一時退団しましたが、その後大平洋戦争激化に際し、ふたたび警防団に入団、以来今日に至るまで通算在職三十年九ヶ月間消防団活動に従事しています。

この間、数多くの功績章、功労章、精進章、特別功績章、顕功章、勤続功労章を授与され、昭和四十一年には静岡県知事から水火災防護功労者として表彰され、また四十二年には、消防庁長官から功労章を授与されています。

今回の坪内氏の受彰で、当町の藍綬褒章受章者は三人になりました(望月隆策、野田力三の両氏)

郡保護司

研修会開催

老人福祉センターで

庵原郡保護司会(稲垣甲子男会長・会員27名)が、二月二十八日午後一時、老人福祉センターで開催されました。

静岡保護観察所長・倉田武夫氏を迎え、郡内の対象者中成績不良者の処遇について研修しました。

坪内氏略歴

職歴

大14年～昭和13年 タクシー業
 昭和14年～昭和19年 土木請負業西松組に属し、日軽蒲原工場すい道工事輸送に従事
 昭和20年～昭和23年 工場経営
 昭和23年～現在 日軽蒲原工場内に土木請負業・坪内工業所経営
 公職歴

昭和34年～現在 町議員連続三期
 昭和37年～昭和38年 町議会議長
 賞

昭和40年 更生保護事業に協力したため、内閣総理大臣から紺綬褒章
 昭和42年 富士川町長より水火災防護功労者として表彰さる



写真・研修する保護司会

曹洞宗宗務庁主催 青少年作品展

斎藤順子さん(小二)

総長賞を獲得

曹洞宗宗務庁主催の第一回青少年作品展で、当町の児童生徒が多人数入賞し、関係者を喜ばせています。

昨年九月、曹洞宗宗務庁が、全国の青少年を対象に作品を募集、図画五四四点、書二、八七四点を集めて展覧会を開催、当町からは渡辺清先生、加藤恵子先生のご協力を得て、「慈林寺恵の会」とし

て応募したものです。

小学二年斎藤順子さんは、図画の部で見事特選宗務総長賞を、小学四年渡辺英二君は金賞を獲得、書の部でも小学二年早房ゆき子、太田はるみさんが金賞をそれぞれ獲得しました。

図画

(敬称略)

特選宗務総長賞 斎藤順子 小二

金賞 渡辺英二 小四

入選 久保田貴久 小一

松本哲訓 小一

書道

金賞 早房ゆき子 小二

太田はるみ 小二

銅賞 白鳥順一 小一

芦川かずよし 入選

若月ひかる、高木こうじ、渡辺みよ子(小一)

堀沢まさ代(小二)

久松定武、斎藤千鶴子、原みゆき、斎藤祥恵、大久保明美、植松佳子、鈴木富士子(小三)

望月久子、波崎美子、木伏利江、錦織尚子(小四)

襲一世、犬島穂波、前島美津子、高橋真弓、久田君江(小五)

以上のような結果で、県下応募十五団体中でも第一位の成績でした。

くらしのメモ

▼新入学児の健康…小学校、幼稚園にはいるお子さんは、虫歯、ヘントウ線、近視、難聴など十分に治療あるいは対策を考えてあげてください。

▼春先の結膜炎…ほこりっぽい春先にかかりやすい。外出から帰ったら清水で目を洗い、指先はいつもきれいに、何回でも洗う習慣をつけましょう。

▼カルシウム…春先はとかく神経がいらだちがちになります。カルシウムを含んだ食品をたくさん食べると鎮静効果があります。ひじき、牛乳など、できるだけたくさんとりましょう。

▼アイロンの殺虫効果…アイロンは単にしわをのばすばかりでなく、衣服についた虫のたまごを殺します。冬に着たものを家庭で始末するときは、必ずアイロンをかけましょう。

▼ハシカの流行期…これから五月ごろにかけてハシカが流行します。ハシカは肺炎や中耳炎などの合併症をおこしやすい。近所に流行しはじめたら、かかりつけの医師に対策をきいておきましょう。

▼火災予防…春は風の季節です。こんなとき火災がおきると大きな災害になります。

中卒就職生の

前途を祝す会

町主催で

町は、二月二十四日午後一時、老人福祉センターで「就職生を励ます会」を開催しました。

ことし一、二中を卒業し、就職コースを選んだ生徒三八名を招き、その前途を祝福したもので、今回を契機に毎年この会を挙げることにしました。

就職コース生(男子30・女子8)の内訳は次のとおりです。

一 中	二 中	計
10名	12名	22名
職業訓練所	10名	6名
計	20名	18名
		38名

当日、中川町長は、主催の趣旨を述べ、記念品と福沢諭吉先生訓(書)を贈って就職生の前途を祝い、自主独立の精神を強調しました。

続いて、渡辺議長らの励ましのことばの後、労働省婦人少年室長・桐谷東里先生の血の通った講話が就職生はもちろん、列席した来賓の皆さんに深い感銘を与えました。

就職生は、代表者の「お礼のことば」の中で示されているように新しい決意をもって社会へ果立っていくことでしよう。



写真・答礼する就職生と中川町長 右端は来賓

贈られた「福沢諭吉先生訓」

一、世の中で一番たのしく立派なことは一生を貫く仕事をもつことです。

一、世の中で一番しみじめなことは教養のないことです。

一、世の中で一番淋しいことは仕事のないことです。

一、世の中で一番尊いことは人のために奉仕して決して恩を着せないことです。

一、世の中で一番美しいことは総べてのものに愛情をもつことです。

一、世の中で一番悲しいことはうそをつくことです。

一、世の中で一番みにくいことは他人の生活をうらやむことです。

(なおこの座右の書は、富士市水戸島・加藤五郎氏の寄贈)

紅ばらカメラ店横 県道右折禁止

坂下の紅ばらカメラ店横の県道は右折禁止になっていますのでご注意ください。

なお、このほか旭町の青柳洋服店裏坂道も右折禁止となっています。また、町内の国道一号线は全面的に右折禁止、駐車禁止(補助食堂前一部だけは許可)です。



どういう訳か、最近の奥さまの中には、自分の夫のことを、パパと呼ぶ奥さまがある。あろうことか、他人に向ってまで、自分の夫のことをパパと呼ぶのである。

「パパがよろしくと言っていましたわ。」冗談じゃない。他人も自分も見境がつかないのは、つまりは自分というものがないからである。幼児期の知能の保存が「可愛い女」だと錯覚して、夫に寄りかかり、生涯安泰ときめこんでいるのである。そこで、ご希望通り、年もとらず、生長もせず、ということになるのだが、さて今年の年は、とらない訳にいかない。

したがってこの奥様、老婦人になられても、もはや根深く住みついた幼児期的生活感覚のために、夫も他人、息子も他人という冷めた事実を、受け入れることができない。明瞭な自他の認識の上に立って、社会のすべての人の中に自分を見出すことはできないのである。社会教育主事・池谷九万夫 ※腹のたしになるかどうか、アラカルト(一品料理)を当分連載します。

旭町に自警消防隊

各戸一ケづつ消火バケツも備え

三月には、毎年、全国火災予防運動が行なわれ、当町消防団も各種訓練、住民むけ広報等を実施しています。

さて、消防団の活動に協力してなお、自分たちの周囲は自分たちの手で守ろうと自発的に消防隊を結成した地区があります。

旭町がそれで、この区は、以前から町民体育大会等で示されるよ

うに、民主的な団結力で知られており、火災予防に關しても、他地区にさきがけて積極的な自警消防隊の結成をみたものです。

ことし一月十五日には、午前八時を期して消火訓練非常呼集をして全戸一七〇名が出動して熱心にバケツリレー操法、消火栓操法を修得、二月一日の本通りの火災に大いに役立っています。

この活動を指導している旭町区長久保田為雄氏は、次のように語っています。

「人が眠ると火が起きると言われていますが、火災の大部分は、わたくしたちの心の間隙を狙って発生している。

消防団の皆さんの活動には頭がさがる思いですが、わたくしたち住民も、火を出さない注意とともに、近所の火災発生の場合には、消防車到着までの応急消火の姿勢がぜひ必要だと思ふ。また、消防団の消火活動が開始されても、地元として、避難その他災害防止活動への協力が望まれることでしょう

町内各區におかれても、春秋二

回の防火運動旬間等を期して、自主的な消火、避難訓練を実施されたらどうかと思ふ。」

なお同区は、半額区費、半額四十五円の自己負担で「火の用心」と朱書したバケツを一個づつ備えています。

次に同区の自警消防隊申し合わせ事項を掲げてみましょう。

- ① 自分の家の周辺を良く知ること
 - ② 非常退避口を確認しよう。
 - ③ 用水や消火栓はどこにあるか
- またホース一本の長さはどれ

ほどで、なん本接続したらどこまで届くかを知っておく。
③ 近くに消火栓、消火器、用水等があつても、発火点や風向きによって状況が変わるからその場合も十分考慮しておく
二風呂の水は朝まで残しておく。
池、泉水、用水槽は常に満水しておく。

三バケツに名前を記入すること。
消火用にはポリバケツは底に手掛けがなく、つるも弱いので、ブリキ製バケツを用意する。

郡駅伝競走大会 当町・一般の部で優勝

庵原郡陸上競技協会（原勝利会長）は、二月二十五日、庵原郡駅伝競走大会を挙行、競技は一般・青年・中学の三部で行なわれ、由比、蒲原、富士川各町から一三チーム（一般三・青年三・中学七）が参加しました。

コース（蒲原町役場前↑↓小池↑↓木島作業所前折返し）は、一五・九キロ。一般、青年は五区間、中学は八区間。

当町からは、一般、青年各一チーム、富士川一中A、同B、富士川二中の計五チームが出場、次の



写真 選手・役員

成績を収めました。（敬称略）
○一般の部

- 優勝 富士川町 五四分〇五秒
 - 二位 蒲原町 五四分二五秒
 - 三位 由比町 五五分三七秒
- （当町の選手：田森昭次・北村正幸・若月真査広・古屋逸亘・

自衛官（二七）募集

- 募集人員 一七〇名
- 試験日 毎週火・木・金
- 試験場 自衛隊静岡地方連絡部

- 佐野昇司
- 区間第一位（当町選手のみ）
 - 二区・北村正幸、三区・若月真査広、四区・古屋逸亘、五区・佐野昇司
- 青年の部
- 優勝 蒲原連青 五三分二七秒
 - 二位 富士川連青五四分〇三秒
 - 三位 由比連青 五七分三三秒
- （当町の選手：二又川昇一、望月敏秋、安藤文夫、望月由己、清勝元）

- 中学の部
- 優勝 由比中A 五三分〇九秒
 - 二位 蒲原中A 五三二九秒
 - 三 富士川一中A五三三三秒
 - 四 富士川二中A五五〇九秒
 - 五 富士川一中B五五五八秒
 - 六 蒲原中B 五七〇九秒
 - 七 由比中B 五八〇二秒
- 区間第一位（当町選手のみ）
- 一区・小林千洋（二中）二区・加藤和久（一中）

富士し由比

パイバスと

当町の岩淵小池下線

中部地方建設局は、富士し由比国道一号パイバスについて次のとおり発表しています。

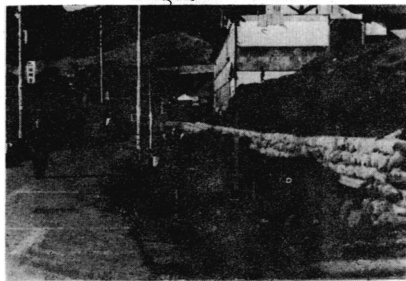
それによりますと、道路は五ヶ年計画で幅員(二本線)、約二〇億円をもって完成させ、パイバス富士川鉄橋は延長一、五四〇m幅員一四mで43年度に設計する予定になっています。

このため、当町は、岩淵小池下線(新幹線より南六〇〇m)と、これに接続する桁形富士川線をこの計画に合わせて施工する必要性に迫られています。(図面は、2月号に掲載) 役場土木課

町道三ヶ所

舗装なる

谷津上町線三三〇メートル、町道一号線約六〇〇メートル、小池停車場線三六〇メートルが、道路公園と東亜道路工業(株)の協力を得てアスファルト舗装され、住宅街道路ならびに蒲原に至るパイバス路線として面目を新たにしました。



拡幅された一小前県道

一小前県道

拡幅改修

町立第一小学校前の県道が、役場前から百メートルの間、拡幅整備されています。

岩淵組の施工により二月十二日着工、三月二十五日完工の予定で進められています。

総工事費百五十万円(内町負担金四十五万円)、以前の幅員五メートルが六・五メートルになり、そのうえ一・二メートルの歩道がつきまます。

役場前に駐車場

最近、役場を訪れる方の乗用車等が著しく増加し、駐車場が緊急

に必要なため、町は工費五十五万円を投入、忠霊塔広場を削って役場前を広く整地工事を急いでいます。

岩淵組施工で、二月六日に着工三月十五日に完工する予定です。完成後は、普通乗用車で三十台駐車できることとなります。

町議会短信

二月

7日 都市計画街路事業に伴う用地買収について地主側役員と話し合いが行なわれた。

議会側からは議長、都計委建設委の各議員が出席した。

8日 県議長会理事会在午後一時から町村会館で開催され、議長が出席した。新年度の予算審議はか。

9日 松野かんきつ生産組合総会が九時から永精寺で開かれ、議長が出席した。

10日 まとい会総会が強羅の望月荘で行なわれ、町長とともに議長が出席した。

22日 議会職員の研修会が静雲荘で開催される。

24日 郡議長会が午前十時から蒲原町役場で開催される。

三月 1日 水資源委員会。

- 4日 定例会告示・議案発送。
- 7日 一般質問通告締切り。
- 8日 議事日程配布。
- 9日 全員協議会午後一時開催。
- 11日 定例会第一日。
- 12日 休会・総務委員会。
- 13日 休会・建設委員会。
- 14日 休会・厚生委員会。
- 15日 本会議最終日。全議案可決(四月号で詳報)
- 18日 郡議会事務局長会・望月義信議会事務局長出席。
- 25日 富友会。(富士川地区旧議員・現議員の親睦団体)

中小企業

設備近代化資金

貸付募集中

◎対象企業

・資本金五千万円以下かつまたは従業員三百人以下の会社または個人(商業・サービス業については一千万円以下または五十人以下)の中小企業者。

・国で指定する業種に属していること。

◎対象設備

・新品であること。

・中古品の場合は、公共試験場等の新品同様である旨の証明が得られるもの。

・国で指定する設備であること

・原則として、昭和43年度(43年4月1日~44年3月31日)において契約し、着工し、完成するものであること。ただし、昭和43年1月1日より3月31日までの契約は可。この場合の期間内における現金支払は、設備代金の30%まで。

◎貸付率及び貸付金額

・貸付率は設備代金の五割以内

・貸付金額は十万円~三百万円

◎貸付利率及び返済方法

・貸付利率は無利子。

・返済方法は、一年据置、四年均等年賦返済。

ただし、借入企業は原則として静岡興経営合理化協会に加入のうえ、協会の行なう毎月の手形積立による償還準備金制度を利用のこと。

◎保証人

連帯保証人三人を必要とする(相保証は認めない)

◎申込期間

第一次 43年4月1日~4月20日

第二次 43年5月1日~5月31日

◎申込場所 商工会・業種組合

設備近代化資金、貸付資金の対象となる業種は、主に製造業ですが、業種、設備ともに広範囲にわたって指定されていますので、商工会、業種組合へどうぞ。

小学生五・六年の食生活

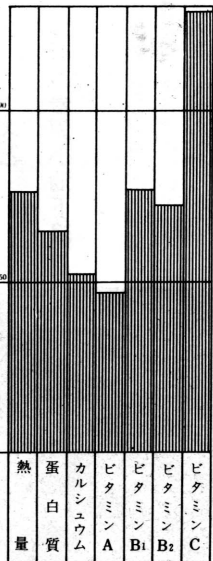
まだまだ不足な栄養素

町栄養士会で調査

富士川町栄養士会は、今回、町内小学校五、六年生を対象に、家庭での食生活の実態を調べました。同会は、この調査について次のように語っています。

「家庭で不足しがちな栄養素を知って、学校給食にそれらを取り入れ、子どもたちの正しい発育を願うのが本来の目的でしたが、学校だけにとどまらず、各家庭でも実行していただき、少しでも町の食生活を向上させたいものと、ここにその結果をお知らせする次第です」

①たん白質・カルシウムが不足している
これらは、成長期の子どもたち



グラフは九〜十一歳児の栄養必要量を百とした場合の町内児童の摂取量。百以下は不足している栄養素

にとくに必要な栄養素です。魚・肉・牛乳・大豆・卵にはたん白質が含まれ、カルシウムは、ミルク・小魚・海藻などに多く含まれています。

②緑や黄色の濃い野菜をもつと食べよう
緑黄野菜（ほうれん草、にんじんなど）には、体の調子を良くしたり、病気に対する抵抗力をつけるたいせつなビタミンが非常に多く含まれています。

わたくしたちの血液は、弱アルカリ性を保っていると健康でいられますが、酸性に傾くといろいろな病気を起こしやすいのです。したがって血液の酸性防止のために

③摂取の多いビタミンC
これは調査時期とみかんの最盛期が一致し、おやつとしてのみかんから摂取したものがほとんどで、おかずからとるビタミンCはごく僅かでした。したがって、夏場のビタミンCの不足が心配です。

④脂肪が足りない
脂肪は少量で多くのカロリーを出し、しかもその際、米などの糖質と異なってビタミンB₁の節約となります。

脂肪は、このほか、皮下に貯えられて保温に役立ち、また有色野菜といっしょに食べるとビタミンAの吸収が良くなります。脂肪にはこのような長所がたくさんあります。とり過ぎが問題になるのは肉食を主とした外国の話で、わたくしたちは、最低の基準量さえも保つことのできないのが現状のようです。

新鮮な野菜や果物をとることが必要です。

最近、外に出て働く主婦が多く調理に要する時間が短縮されがちなで、そのまま食べられるキャベツなどの淡色野菜に比べ、ゆでたりいためたりしなければ食べられない緑黄野菜の調理を面倒がる傾向はありませんか？家族全体の健康保持のために緑黄野菜をどんどん食卓にのせてください。

これは調査時期とみかんの最盛期が一致し、おやつとしてのみかんから摂取したものがほとんどで、おかずからとるビタミンCはごく僅かでした。したがって、夏場のビタミンCの不足が心配です。

脂肪は少量で多くのカロリーを出し、しかもその際、米などの糖質と異なってビタミンB₁の節約となります。

脂肪は、このほか、皮下に貯えられて保温に役立ち、また有色野菜といっしょに食べるとビタミンAの吸収が良くなります。脂肪にはこのような長所がたくさんあります。とり過ぎが問題になるのは肉食を主とした外国の話で、わたくしたちは、最低の基準量さえも保つことのできないのが現状のようです。

相生町のご婦人の方に申しあげます。
こんど、小学校前の道路を岩淵組様が作ってくださいます。出て広くなり、水路も立派に出来つつあります。それにつきまして皆様もきつと気がついていらつしやると

相生町のご婦人へ

同区の一主婦

思います。いつも果物の皮や野菜の屑、空かん、びん等が流れてきます。これはひとりひとりの婦人が気を配ってくださることで解決する問題

ではないかと思われます。この水は、相生町が発端で他部落から流れてくるとは思われません。堺町や新町の方に恥じないように、きれいな水だけが流れるように気を配りましょう。
また、小学校の生徒にも、石や棒切れ等を側溝へ入れないよう、先生や父兄の方にご指導をお願いするとともに、わたくしたち地元民もよく指導したいものです。



刑務所前の富士川町会員

庵原地区更生保護婦人会

岐阜 笠松刑務所訪問

富士川町をはじめ庵原地区更生保護婦人会（土井せつ会長）の会

員五十名が、二月二十六日岐阜県の笠松刑務所を訪問し、施設の見学と受刑者の慰問を行いました。笠松刑務所は中部地方におけるただ一つの女性受刑者を収容する施設で、入口には笠松女子学園と標示されており、ここに勤務する職員約百名の内七十名が女性です。バスで到着した会員一同は、庶務課長の案内で講堂に導かれ、ここで施設についての説明を聞き、さらに教育課長からスライドの映写とともに教育に関する説明を聞いたのち所内を見学しました。

統一された服装をしてキビキビ働く彼女たちからは、社会復帰を真剣に願う気迫というものが感じさせられました。

一里塚のえのき

東側一本が枯死

えのきをしのぶ会開く

当町相生町地内にある一里塚は徳川初期に東海道一里ごとにえのきを植えたものの内、江戸から数えて三十七里目にあたるもので、二本のえのきが現存しているのはきわめて珍らしいことで、当町は、史蹟としてその保存に努力してきました。

ところが昨年、東側のえのきが害虫の被害を受け、手をつくして原因の究明と防除に努めましたがついに救うことができず枯死してしまいました。そこで町は、やむなく二代目のえのきを植えて一里塚の風致を保つことにしました。

郷土史家・稲垣甲子男氏(堺町)の一里塚由来によりますと――
―当町にある一里塚は、慶長九年(三五四年前)二月、徳川秀忠の命によって、大久保長安が、江戸日本橋を起点として、東海道に一里ごとに作らせたものの一つで、江戸から三十七里にあたる。

一里塚は、道の両側に五間四方の塚を築き、榎を植えて里程標とし、旅人の休憩所やかご、乗馬の賃金の基準として利用されたのであるが、百年後の安永年間ごろに

は幕府が修理を怠ったため、一里塚のほとんどが原形を失った。

当町の一里塚も、正徳年間(約二五七―二五三年前)に植え替えたという記録があるが、現存するものとしては非常に僅少であり、他に誇り得る貴重文化財である――と記述されています。

町は、二月二十三日午後二時、現地で「枯死したえのきとお別れする式」を挙行、その後、老人福祉センターで、えのきに対する町民の追憶を残し郷土史蹟への関心を高めるため「えのきをしのぶ会」を開催しました。

一四・五年生の絵画「えのき」一六点が二階大会議室前の壁に

掲げられて、次の児童生徒の作文朗読とともに会のふん開気を盛り上げていました。

- 一 小二年 つちや たまみ
- 〃 五年 影山 なお美
- 〃 六年 鈴木 草司 (詩)
- 〃 六年 齋藤 真理 (詩)
- 一 中二年 太田 久子

「えのきの木のさくぶん」

二ノ一 つちやたまみ
えの木さん、わたしはあなたが
さられるということは、しんじら
れませんでした。「おじいさん」
のほうはともびんびんしている
のに、どうして「おばあさん」が
さられなきゃなんないのですか。
むかし、ばくふのめいれいで、
一りごとにうえられ、やくにたち
ました。おなじ日にうえられた「
おばあさん」のほうがさきにしぬ
なんて。

でも、いままでじぶんのえだの
ひろがったところで、たびびとの
つかれをいやしたりして大へんや
くにたちましたね。

「おばあさん」のさられたあと
には、かわりのえのきの木がうえ
られるといいますが、わたしは
「おばあさん」のことはけっして
わすれません。

それから、わたしはびっくりし
ました。「おばあさん」のそばに
おじじうさんがいるのだからです
「おじいさん」と「おばあさん」
の二つの木は、上の方で手をつ
なごうとしているみたいでしたよ

「おばあさん」、たびびとのや
くにたつてほんとうにありがとう
「おじいさん」は、「おばあさ
ん」のぶんまでもっともつと元氣
でいてね。(おわり)

中川町長はこの席で、一里塚を
含む史蹟をはじめ文化財全般にわ
たり、細心な注意をもって保存し
ていきたいと述べていました。

来賓の自治功労者、老人クラブ
役員、議会議員、地元代表、文化
財関係者の皆さんは、えのきをし
のんで、なごやかなひとときを過
しました。

春の野菜とさかな

お天気のよい日、家族づれで郊
外へ出て、つみ草はいかがですか

せり、たんばばなどをつんで、
おひたしにすると、春のにおいが
満喫できます。

魚類では、春告げ魚と呼ばれる
にしんやほうぼうが出回りますよ
う。にしんもこの節不漁つぎで
かなり高いようですが、やはり大
衆魚です。塩味だけで焼いたのが
さっぱりしておいしいようです。

ほうぼうは、やはり塩焼きがよく
生きのいいものならおさしみにも
なります。少し手を加えるなら塩
と酒をかけて蒸し焼きにして酢じ
ようゆをつけて食べてみてください
い。

貝類も春がシーズンです。あさ
りやはまぐりがたくさん出回ります。
むきみをわかめやわけぎ、う
どなどといっしょに酢みそであえ
たぬたは、ごはんのおかずにもお
酒のさかなにもおいしいものです

貝類の欠点は砂を含んでいるこ
とですが、海の水と同じ状態にし
てやれば、砂をどんと吐きます
二リットルの水に四十グラムぐら
いの塩を入れるのがいちばんよく
砂をはく状態になるようです。

かおりの強い生野菜が豊富に出
回っています。みつば、うど、さ
やえんどう、からしなど、いず
れも春の料理にかかせません。こ
れらの野菜は、色やかかりがたい
せつですから、その特色を殺さな
いように調理しましょう。



写真・えのきの前で記念写真。右側が枯死したえのき



写真・ノコギリをあてる中川町長

人の流れ

(敬称略)

43・1・20 / 43・2・19

祝結婚

区名	新 郎	新 婦	旧 姓
舟山	太田 一男	順子	河西
坂下	渡辺 啓治	克江	実石
旭町	飲田 義明	恒子	桑原
東一	鈴木 辰夫	保子	加瀬沢
宮町	高橋 実	久子	松下
儘下	石川 学	真寿美	古田
清水	高岡 公男	望月	田中
大北	宇佐美 信	節子	江森
大北	天野 五一	まさ	江森

祝誕生

区名	氏 名	保護者	続柄
相生	山田 久美子	清治	長女
東一	赤堀 浩史	博之	長男
新町	渡辺 健二	常夫	長男
川坂	高野 学	宗男	二男
旭町	萩野 裕子	治	二女
堺町	水野 裕子	裕之	長女
相生	斎藤 光男	仁宏	二男
東二	山本 容子	達三	長女
東二	岡田 広美	安晴	三女
東二	八木 広之	常夫	長男
宮町	渡辺 久美子	春男	長女
新町	吉沢 智子	孝芳	長女
幸町	望月 淳一	光男	長男
木島	角替 美晴	郁郎	長女
小池	望月 美香	卯吉	長女
相生	清 一紀	泰二	長男
坂下	芦川 正人	光広	二男

転出した人

折冥福

区名	氏 名	転出先
鍵穴	望月しげ子	富士宮市
小池	望月美津子	蒲原町
南町	望月 容子	身延町
区名	氏 名	年令
室野	望月 徳治	五八
坂下	斎藤 太郎	七六
相生	加茂 勝由	二一
宮町	塩坂 はな	七八
本四	細野 捷之	二六
小池	加藤 亀春	四八
儘下	深沢 寅一	五三
八幡	稲葉タミ子	五三
南町	小林 さく	八二
八幡	鈴木 つな	八八
儘下	望月直次郎	六八
富士見	錦織 梅吉	八九
儘下	久保田春雄	五八

随 想

三月五日は啓蟄(地虫が穴を出ること)夜春一番の通過。雷鳴をともなつたなかなか豪快な風であつた。あくれば六日。至らぬ隅なくうるおつた四方の眺め、富士は春雪を柔かにまとい、かしこの家に紅梅のつぼみ丸く、こなたの家の白桃はほころびた。とみれば、我が家にも沈丁花匂い、椿はすでに三つ四つと雨に打たれた紅いをこぼしている。足もとに露のとう、芍薬の芽、みるものととごとく春の光りにみちあふれ、思わず手足を伸して陽ざしを仰ぐ。枝先にしなびて寒を越した金柑の実は、昨夜の雨にみずみずしく蘇り、例の鴨はあちこちと食み残す程のぜいたくをしている。くちなし、青木の実はこの鳥の好物であるらしい。人里の好きな鴨は昔から役場と庚申堂の桜、一里塚のあたりの竹林がねぐらであつたが次第に木立ちもへり、我家の庭木も大事ななぐらになつたらしい。夏みかんの繁みに彼らの食い散ら

したくちなしの実のさやが一杯落ちていた。この実を古くから染料につかつてくちなし染というが、何となく古風な趣きがある。年々昔振りの生活は失われたが、すべてが偽物時代、素朴な手製のものが最上の価値となつた。故きをたずねて新しきを知るといふ。先頃婦人学級生と東京上野の博物館に、明治百年美術展を見学した。集められているものは、私達が子供の頃からすでに明治の遺産として画集その他によく知つて

思われる。どんな時代でも、新しい問題にぶつかつて苦しい打開を重ねてゆくにはちがいないが、明治の日本が世界の前に小さな己れを開いた時、期せずして、国民の中にはある共通の緊張があつたことだろう。そして美術だろうと、文学だろうと、その先端で、竿頭一歩を進めた人々は、全身に日本を背負つて、外来の文化を摂取するために苦しんだこと、思う。さらには彼らは、個人の苦しみとして担つたと同時に、国民全体の苦しみとしてよく認識しよく耐え忍んだのではないかと考える。明治の文化の持つている偉大さの一つは確かに、この責任感ある苦悩の態度であつて、そこにおのずからけ高い姿が現れてきたものではなかつたらうか。私は、日本画の伝統から油絵に進んだ人々や、古い日本画に新風をとり入れた人々、ここでは、漱石や、鶴外というような偉大な人々を思い、そこに何か我々近親にも通ずる、一派の明治の精神の一面を考えたことであつた。

落のとう



芦川 照江

いる名品ばかり。目のあたりその原物に接して非常に感動した。明治、子は昭和。自分を間にして三代の姿をみてきたが、どうも明治はやはり偉大な時代であつたよいうな気がする。祖父母ないし父母の姿は、大正の私の上にやはりそびえている。その理由を時々私は考へてみるが、やはり明治という特殊な時代が、彼等をそう育てた。また彼等も、明治という時代の任をよく知つて努力したように

※作者は詩人・文協役員・町婦人学級講師―相生町